

Magic eBusiness Platform V9 Plus による IBM DB2 Universal Database V8.2 の動作確認レポート

マジックソフトウェア・ジャパン株式会社
カスタマーサービス本部 開発部
2004/11/30

はじめに

このドキュメントは、Magic eBusiness Platform (以下は Magic と表記) V9 Plus による IBM DB2 Universal Database (以下 DB2 UDB と表記) V8.2 の動作確認テストの結果について記述したものです。

対象

Magic V9Plus Ver9.40J SP3

Magic Ver9.40J SP3 DB2 データベースゲートウェイ : MGdb2.dll (Version 9.4 SP3-0)

動作環境

クライアント

マシン: DELL Dimension 8250

CPU : Pentium4 2.40 GHz

メモリ: 512MB

OS : Windows XP Professional SP2

クライアントモジュール: DB2 クライアント V8.2 (8.2.0)

Magic V9 Plus Ver9.40J SP3 / + MGdb2.dll (Version 9.4 SP3-0)

サーバ

マシン: DELL PowerEdge 1600SC

CPU : Xeon 2.4 × 2

メモリ: 2GB

OS : Windows 2003 Server Standard Edition

DB2 UDB V8.2(8.2.0) Enterprise Server Edition

Magic V9 Plus Ver9.40J SP3 / + MGdb2.dll (Version 9.4 SP3-0)

検証結果

DB2 UDB V7.2 で動作可能なアプリケーションで検証した結果、README に記載された制限事項を除き、正常に動作することを確認いたしました。

補足事項

DB2 UDB V8.2 の新機能として、SET CURRENT LOCK TIMEOUT ステートメントを使用することにより、個々のセッションでロック待機モード・ストラテジーをダイナミックに指定できるようになりました。 Magic の SQL コマンドでこのステートメントを発行し、ロック待機時の動作が変わることを確認しました。

以上